



成果指標

指標項目	単位	現状	目標値 (R7)
ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進			
温室効果ガス排出量 (県全体)	万 t -CO ₂	H25	5,903 (▲15%)
二酸化炭素排出量 (産業)	万 t -CO ₂	H25	4,094 (▲14%)
二酸化炭素排出量 (民生(業務))	万 t -CO ₂	H25	405 (▲24%)
二酸化炭素排出量 (運輸)	万 t -CO ₂	H25	613 (▲11%)
二酸化炭素排出量 (民生(家庭))	万 t -CO ₂	H25	579 (▲22%)
二酸化炭素排出量 (廃棄物)	万 t -CO ₂	H25	45 (+6%)
その他ガス排出量	万 t -CO ₂	H25	167 (▲6%)
太陽光発電設備導入容量	千 kW	R1	1,359 1,669
バイオマス発電設備導入容量	千 kW	R1	128 現状値 より増加
廃棄物発電設備導入容量	千 kW	R1	68 現状値 より増加
二酸化炭素の回収・再利用 に係る研究開発事業の数	件	R2	5 ^{*1} 現状値 より増加
二酸化炭素の回収・再利 用に係る実用化件数の数	件	R2	1 現状値 より増加
手入れ不足人工林の間伐 面積	ha	R1	617 1,050
循環型社会の実現			
一般廃棄物排出量	万 t	H30	92.9 89.1
一般廃棄物再生利用率	%	H30	31.8 32.5
一般廃棄物最終処分率	%	H30	12.7 12.2
産業廃棄物排出量	万 t	H30	1,465 1,453
産業廃棄物再生利用率	%	H30	74.9 75.5
産業廃棄物最終処分率	%	H30	2.3 1.9
がれき類の再生利用率	%	H30	90.2 94.2
廃プラスチック類の再生 利用率	%	H30	64.3 76.4
市町における災害廃棄物 初動マニュアルの策定	自治 体数	R1	12 23 ^{*2} (R3)
電子マニフェスト普及率	%	H30	51.5 80.0
産業廃棄物の不法投棄件 数 (10t 以上)	件	※3	2.6 2

*1 国のカーボンリサイクル関連予算を活用した技術開発のうち、大崎上島町の実証研究拠点化に係るもの

*2 R4以降も、全市町が参加する研修・訓練等を通じて、マニュアルの継続的な見直しを実施

*3 H27～R1 年度の平均

*4 海岸漂着量の多いペットボトル、プラスチックボトル、食品包装・レジ袋の3品目で、生活系プラスチックごみの約72%

指標項目	単位	現状	目標値 (R7)
地域環境の保全			
環境基準達成率:二酸化硫黄	%	R1	100 100
環境基準達成率:一酸化炭素	%	R1	100 100
環境基準達成率:二酸化窒素	%	R1	100 100
環境基準達成率:浮遊粒子 状物質	%	R1	100 100
環境基準達成率:ベンゼン	%	R1	100 100
環境基準達成率:ジクロロ メタン	%	R1	100 100
環境基準達成率:一般地域 における騒音-	%	R1	91.9 現状値 より増加
環境基準達成率:道路に面 する地域における騒音	%	R1	84.6 現状値 より増加
環境基準達成率:航空機騒音	%	R1	100 100
環境基準達成率:新幹線鉄 道騒音	%	R1	50 現状値 より増加
環境基準達成率:重金属等 有害物質	%	R1	100 100
環境基準達成率:河川BOD	%	R1	92.7 現状値 より増加
環境基準達成率:海域 COD	%	R1	42.9 現状値 より増加
環境基準達成率:海域全窒素	%	R1	88.9 現状値 より増加
環境基準達成率:海域全りん	%	R1	100 100
環境基準達成率:地下水	%	R1	81.6 現状値 より増加
環境基準達成率:ダイオキ シン類(大気)	%	R1	100 100
環境基準達成率:ダイオキ シン類(公共用水域)	%	R1	100 100
環境基準達成率:ダイオキ シン類(土壤)	%	R1	100 100
3品目(ペットボトル、 プラスチックボトル、レ ジ袋)の海岸漂着物量 ^{*4}	t	R1	8.4 7.9
水質汚染事故発生件数	件	R1	147 現状値 より減少
緑地環境保全地域面積	ha	R1	818 現状値 より増加
自然環境と生物多様性の保全			
自然公園等利用者数	千人	R1	9,642 現状値 より増加
レッドデータブックひろ しま掲載数	種	R3 年度中 に把握	現状値を 踏まえ設定
環境負荷の少ない社会を支える人づくり・仕組みづくり			
環境保全活動に取り組ん でいる県民の割合	%	R2	59.9 65 (R5)
環境・エネルギー分野の 付加価値額	億円	R1	684 892
環境・エネルギー分野の 取組企業数	社	R1	127 170
ひろしま地球環境フォー ラム会員のうち、SDGsと 関連付けて事業活動を行 っている事業者の割合	%	R1	29.7 75
県の事務事業で排出され る温室効果ガス排出量	t-CO ₂	R1	49,797 46,431

広島県環境県民局環境政策課

〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL (082)513-2911 FAX(082)227-4815
E-mail kankansei@pref.hiroshima.lg.jp

詳しくは広島県の環境情報サイト「ecoひろしま」をご覧ください。
[ecoひろしま](http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/) 検索 リサイクル適性(A)
 この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます

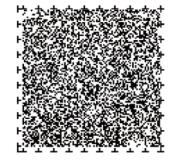


第5次 広島県環境基本計画

令和3(2021)年度～令和7(2025)年度

「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」
～未来につながる、環境の3つのわ(輪・和・環)～

令和3(2021)年3月



これは音声コードです。
目の不自由な方への情報提供のためにいます。

基本的事項

策定の趣旨

社会情勢の変化に適切に対応し、環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、「第5次広島県環境基本計画」を策定しました。

社会情勢

- ・持続可能な開発目標(SDGs)への取組
- ・温室効果ガス排出量実質ゼロの実現に向けた対応
- ・自然災害リスク増幅が懸念される気候変動への適応
- ・プラスチックごみによる海洋汚染への対策

計画期間

令和3(2021)年度～令和7(2025)年度

計画の位置付け

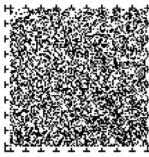


基本理念

環境にやさしい広島づくりと次代への継承 ～未来につながる、環境の3つのわ(輪・和・環)～



基本理念を補完するサブテーマは、県民・事業者の皆様の自主的な取組を持つ持続可能なものとしていくため、また、環境分野の5つの施策が相互に関連しており（環境の輪）、環境と共生した生活スタイルや事業活動が定着（環境との調和）することにより、資源循環・自然共存社会の実現（環境の環）を目指していくという、メッセージを県民・事業者の皆様に分かりやすく発信するため、設定しました。



これは音声コードです。
目的の不自由な方への情報提供を目的にしています。

計画策定の新たな視点・ポイント



SDGsの考え方に基づく施策の推進

○SDGsには、環境と関わりの深いゴールが多く設定されています。

○SDGsの各ゴールやターゲットは、相互に関連しており、あるゴール・ターゲットの達成を目指すことで、関連する他のゴール・ターゲットも同時に達成できます。

○「環境を基盤に持続可能な社会活動・経済活動を統合的に築く」というSDGsの考え方を取り入れ、5つの施策体系を推進することにより、環境と経済・生活のどちらかではなく、どちらも追求する社会を目指します。

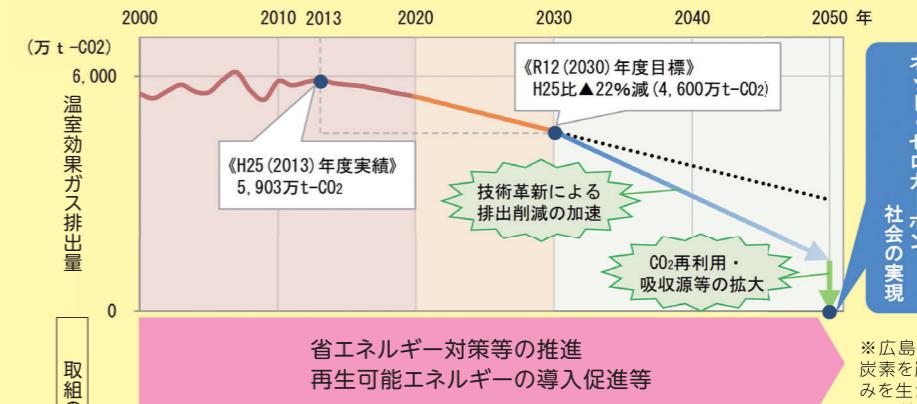


出典:ストックホルム・レジリエンス・センター



地球温暖化対策の推進

2050年における温室効果ガス排出量の実質ゼロ(ネット・ゼロカーボン)を目指します!

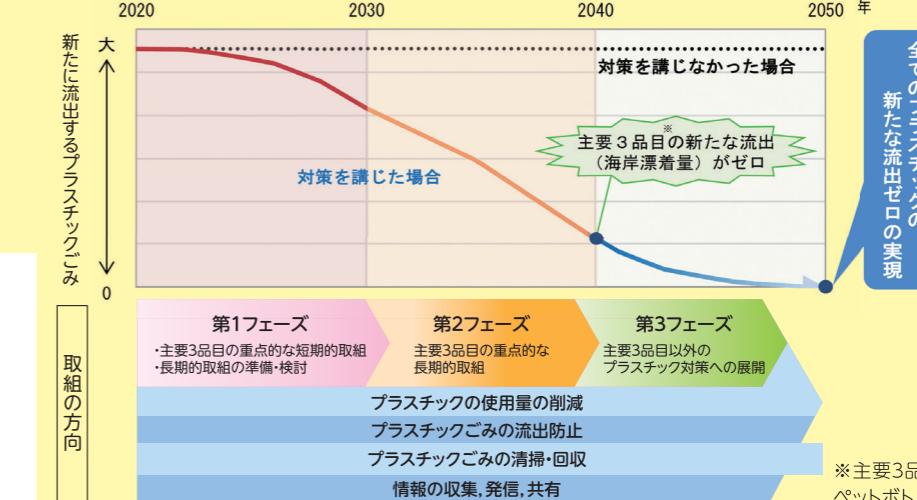


*広島型カーボンサイクル:二酸化炭素を炭素資源と捉え、広島県の強みを生かしながら、生産活動における再利用や、海洋中で二酸化炭素に分解される海洋分解性プラスチック等の普及促進などにより、海洋を中心とした循環を実現する仕組み



プラスチックごみの海洋流出防止対策

2050年における新たに瀬戸内海に流出するプラスチックごみの量のゼロを目指します!

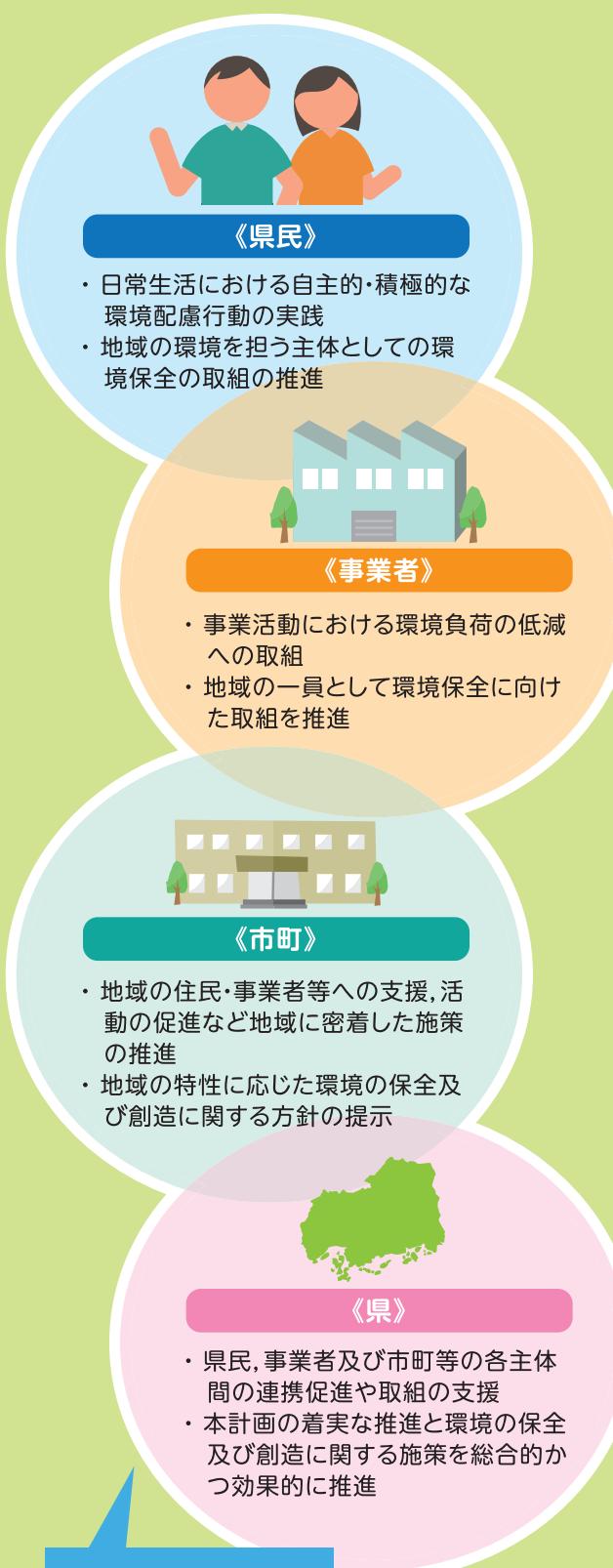


※主要3品目:
ペットボトル、プラスチックボトル、レジ袋



これは音声コードです。
目的の不自由な方への情報提供を目的にしています。

【各主体の役割】

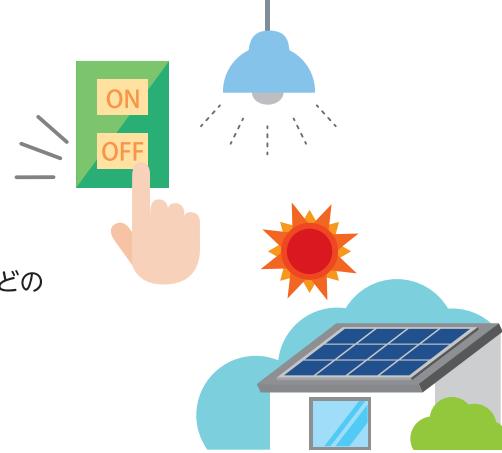


基本理念を実現するための5つの施策体系

ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進



1 省エネルギー対策等の推進



2 再生可能エネルギーの導入促進

3 カーボンサイクルの推進

4 気候変動を見据えた適応策の推進

地域環境の保全



1 良好な大気環境の確保

2 健全な水環境の保全・管理

3 化学物質による健康リスクの低減・土壤環境の保全

4 プラスチックごみの海洋流出防止対策

5 地域環境の維持・向上

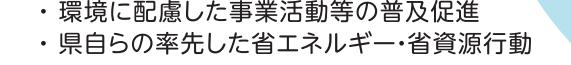
環境負荷の少ない社会を支える人づくり・仕組みづくり



1 環境学習・自主的な環境活動等の推進

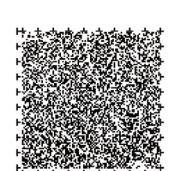
2 環境関連産業の振興

3 環境配慮の仕組みづくり



【計画の進行管理】

- 成果指標を設定し、現状値を把握
- 施策・事業の取組状況は毎年度把握し、環境白書により公表



これは音声コードです。
目の不自由な方への情報提供を目的にしています。